

せきせき・函館

▽明けまして、おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。



▽昨年末の21日に労働政策審議会労働条件分科会労災保険部会の協議の中で採石業の労災保険率が改定される連絡が有りました。これで昨年度要望の懸案が何とか満たされた事に成りました。

しかし、全業種から見た保険率はとても、とても自慢できるものではありません。また、軽油引取税に関しても恒久化でなく3年間の延長という事で今後とも陳情団体として本部の緊張ある対応を望むものです。▽本年はいつもより長めの年末年始休暇を比較的穏やかな天候の中過ごしていたのですが、12日北海道上空に強い寒気が入って道南付近を低気圧が通過し大気が不安定になり道南各地では今の時期にしてみれば大変な大雪に見舞われました。世界的に見ても異常気象の連続です。

今年の地球は、気性(気象)が荒っぽくなっている様です。地震にしても連日のように日本各地でも世界各地でも起きています。自然を相手にしている我々の仕事は常に注意していなくてはなりません。今年も皆さん一丸となってKY活動やリスクアセスメント以前に最も基本的な安全対策は何かを考えて徹底して頑張りましょう。

(一社)日碎協北海道地方本部

北海道砕石協同組合連合会

報告事項

◇北海道砕石地方本部

◇(一社)日本砕石協会動向

①採石業の労働保険率が千分の52から千分の49に3ポイント低減されると12月21日連絡が有りました。

陳情・要望活動が功を奏した訳です。しかし、これは保険率算出の根拠となる今年(平成26～28年度実績)の賃金総額(分母)が、前期(平成23～25年度実績)に比べて28%増の三一九億円と大きく増えた事が要因であり現状としては安易に喜ぶことではありません。分子である業務災害は、短期給付が4%減ったものの長期給付所要額が44%増え、これは重篤災害の死亡災害が増加していることも要因であること

を自覚すべきです。この傾向は現在も続いているのが現状です。二〇一七年の採石業の死亡災害数は前年比5人増の8人と大幅に悪化しています。日本砕石協会会員事業所でも3件の死亡災害が起っておりあります。

このままでは、二〇二一年の改定では反対に保険率の上昇という最悪の事態も考えられます。全業種の平均の10倍以上ある採石業の保険率は未だワースト4位。より一層の安全対策の推進が必要

経てトラック事業者と荷主の責任を適切に分担させるとの事。

◇災害注意

※思わぬ降雪や天候の急変で工場内で作業されている方々のご苦労が危惧されます。防寒用の作業服での作業はコンベヤー等にも巻き込まれる可能性も大です。始業前の服装の点検も必要かと思ひます。

道南地区砕石協同組合・協会動向

◇要望活動

年度前に新聞広告等を出す検討で進めて参ります。その際には、理事会に諮り文面の確認を致します。

◇道南火薬類保安協議会の設立について

兼ねてより(一社)北海道火薬類保安協会から業務委託をする任意団体の設立を依頼されておりました件について『渡島』としておりましたが道南地域一体という形で名称を『道南』と致しました。設立総会は左記日程で開催。開催日時：2月1日午前11時から開催場所：七飯町 奴寿司2階会議室対象会員は、北火協会員のみです。

◇役員会と親睦会

役員会：2月22日15時より
協会事務所にて
平成29年度収支決算見込み
平成30年度収支予算と行事確認
親睦会：18時より
五稜郭『割烹 あべ』にて

詳しくは、今月中に案内いたします。是非、皆様の「ご参加をお願い致します。

◇採石のための掘削作業主任者技能講習会の開催について

申し込みの締め切りは、平成30年二月五日です。

◇事務局より◇

① 昨年度、実施された『採石業務管理者試験』『火薬類保安責任者試験』の問題と解答をまとめてみました。ご希望の方は、「ご連絡ください。

② 桔梗石材工業所の越田修取締役から一月八日より函館に戻り会社着任との「ご連絡を頂きました。着任を歓迎する様な12日の大雪でビックリした事と思ひます。シバれない様にしっかりと股引穿いて頑張って下さい。協会員一同バックアップ致します。

③ 本年も『さいせき函館』をよろしくお願ひ致します。文字が小さく文書の校正が悪い等々聞く耳はたくさん持っています。どしどし「意見を頂きたいと思ひます。但し、言う事は聞きませんので悪しからず。また、ホームページも充実して参りますのでよろしくお願ひ致します。

